

## 令和5年度第1回筑紫野市立図書館協議会議事録（要点筆記）

開催日 令和5年7月26日（水）14:00～15:15  
開催場所 図書館集会室  
参加者 河井会長・八尋副会長・大谷委員・塩崎委員・船本委員・帆足委員  
事務局（上野教育長・松木文化・スポーツ振興課長・前田係長・小川・石丸・橋本マネージャー（株筑紫ビル管理））

### 開会

#### 委嘱書交付式開催

教育長より新委員である帆足氏に委嘱書代表交付

#### 教育長挨拶

（公務のため挨拶後降壇）

#### 職員自己紹介（事務局）

#### 委員自己紹介

#### 会長・副会長選任

立候補者なし。事務局案で会長は河井委員、副会長を八尋委員にお願いする。

事務局 当会の委員総数は7名、うち本日の出席委員6名、欠席委員1名で、過半数以上の出席のため筑紫野市立図書館設置条例第14条第2項の規定により、協議会の成立を報告する。なお、議事録作成の為、録音し、会議規約に基づき要点筆記の議事録を図書館ホームページで公表する。傍聴者はなし。これより、会議の進行を会長にお願いする。

会長 コロナが終わり、世間がざわついている。コロナ以降様々なことが変わってきているため、図書館も進化しなければいけない。皆さんのお力を貸していただきたい。

議事の進行に移る。発言がある人は挙手をお願いする。では、「議案第1号 令

和4年度運営報告について」事務局に説明を求める。

#### **事務局 議案第1号 令和4年度運営報告について（説明）**

会長 令和4年度に数値が以前のように戻ってきている。今年度はもっと増やしていければいい。

委員 県内の相互貸借が多いが、遠い場所との貸し借りとは実際にどのようにしているのか。

事務局 県内の図書館においては、福岡県立図書館が運用している「福岡県図書館情報サービス」配本車を活用して、週1回ペースで無料配送している。当館を利用できない遠方の依頼者が当館の本を借りたいときは、依頼者の居住地にある図書館を通じて依頼してもらい、借受館の着払いでゆうメールを使い図書館同士の対応としている。

会長 これは個人の方ではなく、図書館同士でのやり取りになる。

#### **事務局 議案第2号 令和4年度図書館事業報告について（説明）**

会長 面白い取組が多い。募集はどのくらい前からどこに向けて行っているのか。

事務局 図書館のホームページやSNS、広報紙、近隣の図書館等で周知し、1か月前くらいから募集している。

副会長 令和4年度はコロナ禍で規制があったのか。

事務局 使用した部屋によりそれぞれ人数制限がある中で、開催できる最大人数で開催した。

### 事務局 議題第3号 令和4年度筑紫野市子どもの読書活動推進事業について (説明)

会長 教育振興基本計画の中に包含されると聞いた時には心配したが、こうして子ども読書活動推進事業を報告してもらえると安心する。コロナもあって心配している。ブックスタートも次世代育成についてもポイントを押さえていてとてもいいと思う。

委員 学校図書司書交流会だが、すべての学校に図書司書はいるのか。また、全員参加されたのか。

事務局 全員にお声がけしたが、公務の都合で参加できなかった人がいる。リモートでの参加も可能としていたため、途中から参加した人もいる。欠席は2校。学校図書司書の主管課は学校教育課なので各校の配置状況はつかめていないが配置の有無にかかわらず今後も学校図書司書の支援を行っていく。

### 事務局 議案第4号 令和5年度図書館事業計画について (説明)

会長 市民図書館業務を委託している株式会社筑紫ビル管理が実施しているイベントは教育委員会や学校と連携をして行うことはあるのか。

事務局 委託業務なので独立している。現在連携はしていない。連携をしていくとすれば委託業務ではなく、市が行っている子どもの読書活動推進事業の方でできると考える。

委員 開催回数が減ったのはなにか理由があるのか。

事務局 東京から講師を呼ぶなど一つ一つを充実させるようにしたことでやむを得ず回数が減った。

会長 予算の都合もあるかと思う。

委員 大人向けの講座に託児はあるか。

事務局 コロナ前は生涯学習センターで託児を実施していたが、コロナがまだ収まったわけではないため託児をすることで不特定多数の人が同じ部屋に集ま

ることを懸念して託児はまだ再開していない。

## 事務局 議題第5号 令和5年度筑紫野市子どもの読書活動推進事業計画（説明）

委員 次世代読み聞かせボランティア育成の取り組み、素晴らしいと思う。私自身、小学校の読書ボランティアに所属をしているが、そのメンバーの一人がブックトークをしている。読み聞かせをする幼児、次に小学生が自分で読む本は面白い本を紹介してくれるブックトークに触れることも大きな意義があるため、この取り組みが進んだらブックトークにも広がっていくといいと思う。また、図書館見学はどのようなことをしているのか。カウンター体験などもできるのか。

事務局 図書館見学については、コロナ前とコロナ後で内容を変えている。コロナ前に比べコロナ後は時間を短縮し、人数も30人から15人に減らすため2日に分けている。以前は集会室に子どもを一堂に集めて、紙芝居などを行っていたが、今は図書館の中や、ブックポスト、児童室、カウンターの案内をしている。おはなしのへやは現在まだ休止中なので案内をしていない。OPACでの調べ方も教えているが、今の子どもはパソコンの扱いに慣れているので楽しそうに調べている。また、大活字本の説明や、点字の本に触ってもらい、視覚障がい者の方でも本を楽しむことができるということを知ってびっくりする子どもが多い。

会長 今は見学中心の内容であるため、カウンター体験の体験型を取り入れると子どもたちは図書館をもっと身近に感じることができると思う。

事務局 参考にする。

会長 先ほどの話で今後、学校等と連携をとり事業展開していくことが可能といていたのは、⑤小中高生を対象とした読書イベントか。

事務局 いずれここで広げていきたいと思う。

会長 絵を描いただけで終わらず、学校と連携すると学校で展示をしてもらえると思うので、是非連携を取り合い、広げて行って欲しい。

委員 ブックスタートで以前学生ボランティアが参加していたと思うが今はどうか。

事務局 今年度も大学に声をかけている。すでに6月の日曜ブックスタートに4人ボランティアとして参加してもらっている。11月の日曜ブックスタートにも声をかける予定。

委員 とてもいい試みだと思う。

#### 事務局 議題第6号 令和4年度筑紫野市電子図書館利用統計（説明）

会長 随分利用も増えている。詳細をだしてもらっているのが珍しい。6～12歳がどんな本を借りているかまでわかるのか。

事務局 わからない。ただ、貸出ランキングでは、動く絵本がよく借りられていることがわかる。アニメーションのようになっているため、タブレットで楽しんでいるのではないかと思う。

会長 もっといろいろなことがわかってくるといい。

事務局 もうすぐ導入して1年になるため、注視していく。

会長 今後も注目していきたい。他に質問がなければ、次に報告事項をお願いします。

#### 報告第1号 筑紫野市民図書館における今後の感染症対策について（説明）

会長 まだコロナは解決していないがなるべく労力を使わずに安心して使えるように努力をしていることがわかる。その他、事務局から何かあるか。

事務局 なし。

会長 ではこれで進行を事務局にお返しする。

事務局 ありがとうございます。では最後に松木文化・スポーツ振興課長兼図書館長に挨拶をお願いします。

館長挨拶

連絡事項、閉会